土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　主要地方道呉環状線　災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	H30-Br-21	**調査位置**	広島県呉市焼山町地先			**北緯**	34° 17′ 45.64″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年　7月 19日 ～ 2019年　7月 25日	**東経**	132° 32′ 19.94″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 187.20m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	
総削孔長	17.00m							**試錐機**	吉田鉄工所製　YBM-05
								エンジン	YANMAR製　NFD-9	**ポンプ**	GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	185.40	1.80		崖錐堆積物		褐				砂は細～中砂で細砂主体である。粘性を含み，所々φ10～40mmの礫が混ざる。	07/20 1.10
2										花崗岩の強風化土。風化変質が進行し，コアは土砂状にて採取される。指圧で容易につぶれる。	
3											
4										コアは風化著しいが，岩組織は認められる。ハンマー軽打で砕ける。 GL-5.25m付近で一時的に全漏水あり。	
5											
6											
7										風化変質進行するものの，岩組織は明瞭に残存する。 GL-7.40m付近より漏水があり，G1-7.7m付近より全漏水。 GL-8.00～9.00mで一時的に排水戻るが，8.70～9.00m間で全漏水。	
8											
9				花崗岩		淡褐				風化進行するものの岩組織は明瞭で，コアは岩片状～短柱状主体，深度方向に硬質化が見られるが，全体的に亀裂が多く，ハンマーの軽打で割れる。 GL-9.00～11.00m間で全漏水。	
10											
11											
12										コアは短柱状～岩片状で採取される。節理の発達が見られ，全体的に亀裂が多い。 岩級区分はCL～CM級。	
13											
14											
15											
16										風化により短柱状コアで採取される。ハンマーの打撃により割れるものの，全体的に比較的硬質である。 岩級区分はCL～CM級。掘削中，抜管後水位無し。	
17	170.20	17.00									

標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
		1.15	2	3	3	8/300		
	8	1.45						
		2.15	4	4	4	12/300		
	12	2.45						
		3.15	5	6	12	23/300		
	23	3.45						
		4.15	50/50			50/50	50	
	300	4.20						
		5.09	50/40			50/40	40	
	375	5.04						
		6.06	50/30			50/30	30	
	500	6.03						
		8.09	50/60			50/60	60	
	250	8.06						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					7/19
					7/20
					7/22
					7/23
					7/24
					7/25